

【消費生活の窓口から】

水筒、やかんなど金属製の容器の使用方法にご注意を！

～酸性の飲み物による金属の溶出に伴う中毒に注意～

暑い季節を迎え、冷たい飲み物を水筒に入れて出かけたり、熱中症対策のためにスポーツ飲料を大量に作り置きすることがあります。しかし、使用方法を誤ると、場合によっては中毒を起こすことがあります。水筒、やかんなどの使い方を見直しましょう。

【アドバイス】

（１）食品が接触する容器の内部にサビや傷がないか確認しましょう。

サビや傷があると、もともと飲み物が触れない部分が露出してしまい、その部分から金属成分が溶け出すことが

あります。落としたりぶついたりした場合は、見た目では分からない場合でも破損していることがありますので、

使う前にはよく確認しましょう。

（２）酸性の飲み物を長時間、金属製の容器に保管しないようにしましょう。

スポーツ飲料などの酸性の飲み物を金属製の容器に入れると、飲み物の中に金属が溶け出すことがあります。

長時間保管した場合は、いつもと違う味や色になっていないか、よく確認しましょう。

（３）古くなった容器は、定期的に新しいものに交換しましょう。

古くなった容器は、劣化して内部が変化していることがあります。思わぬ事故を防ぐためにも、定期的に新しい

ものに交換しましょう。

（４）取り扱う食品の表示及び注意喚起を確認し、使用しましょう。

水筒等の容器を使用するときは、飲み物の変質・変色や製品の故障等を防ぐため、容器や飲み物の注意書きを

よく確認し、長時間の保管は避けましょう。

〈酸性の飲み物〉主に炭酸飲料や乳酸菌飲料、果汁飲料、スポーツ飲料。酸性である炭酸、乳酸、ビタミンC、

クエン酸（果物に多い）などを多く含む飲み物は、酸性度が高くなります。

※詳しくは、東京都福祉保健局ホームページ「水筒、やかんなど金属製の容器の使用方法にご注意ください！～酸性飲料による金属の溶出に伴う中毒に注意～（リーフレット：[PDF](#)）」をご覧ください。

※ご相談・お問い合わせ先

中山町消費生活相談窓口（住民税務課 住民G内） ☎662-2593